産業労働局長の海外出張について

1　出張者・出張先

産業労働局長　坂本　雅彦

イギリス（ロンドン）

2　出張期間

令和５年１月 29 日（日曜日）から令和５年２月４日（土曜日）まで（５泊７日）

3　出張目的

・ 東京へのインバウンド強化を図るため、東京シティプロモーションを開催し、現地のメディアや旅行事業者等に対し東京の魅力をＰＲするセミナーをはじめ、都内の観光関連事業者等による商談会などを実施。また、現地の観光に関連する公的機関等と両都市における観光の現状などについて意見交換を実施。

・ 都内中小企業等に対するＧＸへの取組の支援策の検討にあたり、ヨーロッパにおける海外のクレジット取引市場や制度の取組について意見交換を実施。

4　経費

9,751,643 円

5　同行者数

７名

6　出張の日程

１月 29 日（日）

〇移動日（出発日）

１月 30 日（月）

〇日本政府観光局ロンドン事務所へのヒアリング

〇在英日本商工会議所へのヒアリング

１月 31 日（火）

〇一般財団法人自治体国際化協会ロンドン事務所へのヒアリング

〇商談会

・都内の観光関連事業者と現地旅行事業者との商談会

２月１日（水）

○シティ・オブ・ロンドンロードメイヤーと知事との会談への同席

○旅行事業者向け観光セミナー

・東京の魅力や最新の観光情報等を紹介するプレゼンテーションを実施

・都内の観光関連事業者によるプレゼンテーションを実施

○商談会

・都内の観光関連事業者と現地旅行事業者との商談会

○メディア向け観光セミナー

・東京の魅力や東京のアイコン、最新の観光情報等を紹介するプレゼンテーションを実施

・ゲストによるパネルディスカッション

○事業者交流会

○ワーナーブラザースワールドワイドツアーズ アンド リテイル デスティネーションズ幹部と知事との会談への同席

２月２日（木）

○ロンドン証券取引所幹部と知事との会談への同席

○ロンドン市長と知事との会談への同席

２月３日（金）

○グリーンファイナンス研究所幹部と知事との会談への同席

○ジェトロロンドン事務所へのヒアリング

２月４日（土）

○移動日（帰国日）

7　出張の成果

○現地のメディア等が参加したセミナーにおいて、東京の観光地や日本文化などの魅力をＰＲし、認知度の向上を図った。また、都内観光関連事業者等と現地の旅行事業者との商談会では、ネットワークの構築や東京への旅行商品の造成に繋がる機会を創出した。

○「ハリー・ポッター」の体験型施設が都内にオープンすることを踏まえ、ワーナーブラザース ワールドワイドツアーズ アンド リテールデスティネーションズの幹部と面会し、世界的人気コンテンツをテーマとした施設がインバウンド誘致において果たす役割等について意見交換した。

○日本政府観光局ロンドン事務所や在英日本商工会議所、一般財団法人自治体国際化協会を訪問し、英国やロンドン市における観光の現状や旅行者の動向について、意見交換を行い、

今後の東京へのインバウンド誘客に向けて参考となる情報を得た。

○シティ・オブ・ロンドンでは、第 694 代ロードメイヤー ニコラス・ライオンズ氏と会談。会談では、気候危機やエネルギー危機など直面する困難を克服するために、グリーンファイナンスや排出量取引の活性化といったＧＸに関連する都の取組を紹介した。

○ロンドン証券取引所では、同取引所が開始したボランタリーカーボンクレジット市場の取組の説明を受けるとともに、都からグリーンファイナンスの取組を紹介した。ゼロエミッションの実現に向けて、企業における脱炭素化への取組が重要であり、今後も継続的に意見交換を行うこととした。

○ロンドン市庁舎ではサディク・カーン市長と会談し、両都市の観光振興はじめ、エネルギー・気候変動対策などについて意見交換し、友好都市として連携して取組を進めていくことを確認した。

○グリーンファイナンス研究所では、英国におけるグリーンファイナンスの取組や東京都のＧＸに関する意見交換を実施し、企業の脱炭素化に向けた取組として、設備投資のインセンティブをもたらす排出量取引が有益であるとのアドバイスをもらい、今後も継続的に意見交換を行うこととした。

○ジェトロロンドン事務所では、英国におけるエネルギー政策や排出量取引制度、対日投資の動向について意見交換を実施し、英国や欧州の状況を把握した。

【お問い合わせ先】

＜東京シティプロモーションについて＞

産業労働局観光部企画課

電話　０３－５０００－２４２６

＜企業の脱炭素化への取組に係る意見交換について＞

産業労働局産業・エネルギー政策部計画課

電話　０３－５３２０－４７９９